



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

やらまいか

クラブテーマ：みんな仲良く!地域に、地球に奉仕しよう!

会長/林 博宣 幹事/小田伊佐浩 会報委員会/青谷友章・大仁孝泰 例会/毎週火曜日 12:30 豊川商工会議所
事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 FAX0533-86-8889 HP:<http://toyokawahoi.tank.jp/>

本年度第27回 通算1666回 2022年3月15日(火)	出席報告	会員総数	出席者数	出席率	3/1 修正出席率
		72名	36名	58.1%	67.7%

ゲスト：縁日参りプロジェクト実行委員会 2022 谷口慶一事務局長

★会長あいさつ

林 博宣会長



こんにちは。やわらかい春風が心地よく感じられる頃になりましたが、花粉症の方にとっては、大変つらい時期だと思います。幸いにも、私はまだ花粉症のデビューをしておりませんが、家内は朝から鼻と目をゴソゴソして辛そうです。

東日本大震災の発生から11年を迎え、先週の金曜日に各地で追悼式典が行われておりました。街がないのに防潮堤だけが大きく見える景色に違和感を覚え、復興にはまだまだ長い時間が掛かると感じました。

この20年間に、信じられない出来事が起こっています。今回のロシア軍によるウクライナ侵攻もその一つです。一人の人間によって、国際社会の秩序が乱され、食い止めることが出来ない現実に虚しさや憤りを感じます。軍事侵攻が一刻も早く終結するように望みます。

カーボンゼロ・プロジェクトの植樹を豊川市内6高校で進めています。3月3日御津高校、4日に豊川高校で植樹式を終えました。明日からの3日間で宝陵高校、小坂井高校、国府高校、豊川工科高校で植樹式を行います。各学校の卒業生の方は、是非ともご参加頂ければ嬉しく思います。

今日は、昨年、豊川青年会議所が主催して、その後は実行委員会が引き継いでいる、豊川稲荷のヨルモデのPRに来られています。豊川市の更なる活性化を目指して頑張っています。皆さんで応援をし

てあげてください。

本日の例会は、杉浦和人会員の新人会員スピーチです。宜しくお願いします。

★幹事報告

小田伊佐浩幹事

次回例会の開催について
カーボンゼロ・プロジェクトの植樹式参加のお願い

★委員会報告

親睦委員会 加藤雅美委員長

花見例会参加へのお願い
縁日参りプロジェクト実行委員会 谷口慶一さん
YORUMO-DE 開催のPR



★新入会員スピーチ

杉浦和人会員



こんにちは。昨年10月に入会しました。自己紹介と会社の事、鉄筋について話をさせていただきます。

名前は、杉浦和人です。小学生の

頃から漢字の読み間違いで「かずひと」や「かずと」と呼ばれていました。両親にどちらが正しいか聞いたら、どちらでも良いと言われた事から、それからは読み間違いをされても、めんどくさいので、そのまま返事をしています。年は春の訪れと花粉を感じながら、今年2月に50歳になりました。年齢的には、老眼で老いを痛感するようになり、世間的には若い子とのジェネレーションギャップを感じたりして、色々な感情が入り混じる日々ですが、まだまだ前向きにヤンチャ心を忘れず、出来るだけ楽しいことを見つけないと思いません。

家族構成についてお話をします。現在は、妻と犬1匹と暮らしています。妻は同じ中学校出身の同級生です。犬のマルプウは、もうすぐ3歳を迎える暴れん坊です。僕は21歳で、若くして父親になりました。子どもは娘が2人います。結婚して自立をしています。僕の親も21歳で親になり、僕も21歳、長女も21歳で親になりました。杉浦家は代々21歳で親になることを受け継いでいます。僕は娘2人を授かって、正直この会社は僕で終わると思っていましたが、娘が婿さんを連れてきてくれたので、次の代への続くことができます。また孫が2人いますが、3人目が初夏に生まれます。どうやら、杉浦家は女の子しか生まれていないので、男の子を期待しています。

僕の生い立ちを話します。小坂井生まれの小坂井育ちです。小学校中学校とも毎日給食を食べに学校に行っていました。高校は豊川高校に入るつもりでしたが、合格を出してくれないと言われ、蒲郡の三谷水産高校に進学をしました。県内各地から個性豊かな輩が進学して来るので、間違えたかなと思いましたが、色々な経験をさせて頂き、楽しい高校生活でした。それから、名古屋の建築の専門学校に進学をしました。専門学校では、毎日、色々な建築分野の勉強を学んで立派な社会人になろうと頑張っていました。昔から親の金で遊んでばかりいたので、家

業を継ぐのが当たり前だと思い、修行のために地元の某建設会社に就職をしました。某建設会社では、7年間現場監督をして勉強させて頂きながら、一級建築施工管理技士の資格を取得し、杉浦鉄筋に入りました。当時は人材も豊富で、建設の仕事が今よりありました。弊社には、従業員が20人ぐらい、外注5組ぐらいは常にいました。この人数で例えるなら、今の豊川市民病院建物2つぐらいの現場しかできない規模の会社でした。昔に比べ、建物が建たないので、この人数を抱えていたら、会社は維持できません。建設業界は、人材難もあり、若手がここ10年入社しても続かない状況です。3Kと呼ばれる、キツイ、汚い、危険というイメージは、今の若者には、給料が安い、労働環境が悪い、価値観の違いへと変わってきています。20年前は、豊川市内の生徒指導の先生が、高校に行かない子どもたちを働かせてくださいと毎週のように来て、5人から6人採用していました。時代も変わり、高校に行かない子も減ったため、建設業界に就職する子も減っていきました。20年前に採用した子も、夏休みになると半分逃げ、正月になると半分やめて、採用した子が一人もいなくなるのが6~7年続いて、今残って働いてくれている若手従業員は2人です。今では貴重な戦力になって、食べさせてもらっています。そして、その時代には、ビザなし外国人が沢山いまして、弊社にも7人ぐらいいました。昔も今もダメですが、その当時は普通に色んなところで働いていました。彼らが一生懸命に仕事をしていても、突然入管や警察に捕まると、その場で終わってしまうので、寂しい限りでした。入管から電話があると、昨日までの給料を持ってきてあげてねと言われます。そこで、給料と差し入れをしてお別れです。当時は企業に罰則はなく良かったです。弊社でも就業する人が減りましたが、東三河だけでも、鉄筋工の人数が100人いない状況だと思います。そのうち、30人ぐらいが実習生です。この先、地元の公共事業もまともに施工できない状況が来そうです。人材確保のためハローワークに募集をかけたのですが、直ぐにやめてしまうので、外国人実習制度をいち早く取り入れ、人材難を補っています。今はベトナム・フィリピンの子が働いていますが、このような制度が何年も続いて行くような気がしません。なぜなら、時代も変わり、SNSの復旧で、日本に来てから情報を共有するため、続かない子が増えているのも現状です。今現在、人数は減りましたが、働いてくれている従業員のために、効率の良い仕事と利益率を上げる努力をしています。

最後に、鉄筋業とは、工場で加工された鉄筋を現場で組み立てることで、鉄筋コンクリートの骨組みを作る。それが鉄筋工の仕事です。様々な建築物、構造物に使用されるコンクリートは、圧縮に強い反面、引っ張る力に弱いという弱点を持ちます。これを補うために、内部に鉄筋を格子状に組み立て、コンクリートが破断した場合でも、構造物の安全が確保される構造となっています。このように、一見、コンクリートしか見えない構造物も、ほとんどの場合、鉄筋が内部に存在し、構造物の強度を高めているのです。この重要な鉄筋部の組み立て作業をするのが鉄筋工であり、ダムや橋、道路といった生活になくはないインフラ工事から、ビル、マンション、工場など建築工事まで幅広く活躍している仕事です。また、杉浦鉄筋の Instagram を可愛い事務員が毎日平日更新をしていますので、フォローの方宜しくお願いします。以上です。ありがとうございました。

杉浦鉄筋さんの Instagram

https://instagram.com/sugiuratekkin?utm_medium=copy_link



★ニコニコボックス

杉浦和人会員 本日スピーチします
井澤秀明会員 誕生日と入会を祝って頂き
夏目雅康会員 誕生日と結婚を祝って頂き
寺部良洋会員 結婚記念日を祝って頂き

★国際ロータリーFacebook 紹介

深刻化する ウクライナ での人道的危機に対応するため、ロータリー 地区による救援活動を支援するための正式な寄付の窓口を設置しました。詳しくはこちら:

<https://on.rotary.org/349VWIC> #ロータリーによる対応

#Ukraine #Rotary



会報担当：青谷友章・大仁孝泰